

小学校高学年 ～高校生向け 年組

2025年4月19日付・下野新聞25面

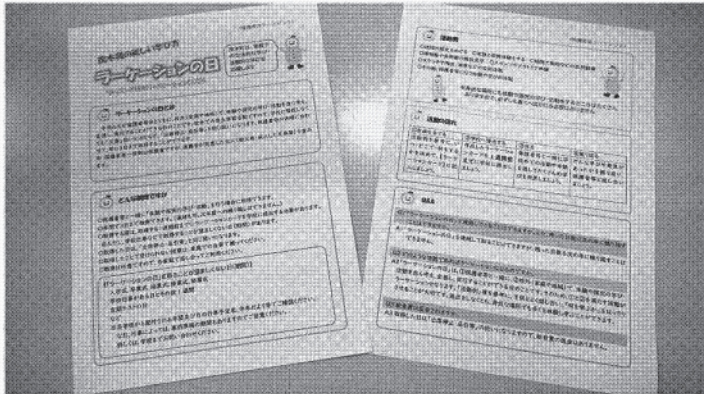
家族と触れ合い 平日の休みOK

茂木町21日から

【茂木】町は21日から、子どもを平日に学校を休ませ、家族と体験・探求活動を行うことを認める「ラーケーションの日」を導入する。町内五つの小中学校の児童生徒が対象で年間最大3日間。町担当者は「この制度で家族が触れ合う機会を増やしてほしい」としている。町によると県内の制度導入は日光市に続き2自治体目。

(桜井誠)

「ラーケーション」導入



ラーケーションは、愛知県が2023年9月、ラーニング（学習）とバケーション（休暇）を合わせた造語「ラーケーションの日」と命名し、全国に先駆けて始めた。昨年度から茨城県や日光市なども実施するなど広がりをみせている。

小中学校で年間3日間

まちづくり」「教育によるまちづくり」に基づき、家族と子どもが一緒に過ごせる仕組みづくりの中で昨年度から議論してきた。

町によると、モビリティリゾートもてぎや道の駅など観光業に携わる町民が少なくない。すでに実施している茨城県と隣接することから、町内でも観光業に従事する保護者を中心にラーケーション制度導入への期待が高まっていた。

対象となる活動は、家族での自然体験や芸術活動、スポーツ体験など。活動したい日の1週間前までに子どもと保護者で計画を立て、ラーケーションカードに記入し学校へ提出すると、年間最大3日間の活動休暇が認められる。連続で取得でき年度への繰り越しは不可。休暇により受けられなかった授業は、家庭の自習で補うことが必要となる。

町教育委員会の堀江順一（ほりえ じゅんいち）学校教員課長は「制度の導入と並行して各校で保護者説明会を開き、ラーケーションの浸透を図っていき」と話している。

ラーケーションについて説明する保護者向けのリーフレット

設問

【1】「ラーケーション」とは、何と何を合わせた言葉ですか。空欄に当てはまるように書きましょう。
「『○○(学習)』と『○○(休暇)』を合わせた造語」

【2】「ラーケーションの日」では、具体的にどのようなことを認めていますか。簡潔に書きましょう。

【3】次の文が正しければ○、誤っていたら×を選びましょう。

ラーケーションの日は、年間最大1日である。

【4】ラーケーションの対象者は誰ですか。

【5】「ラーケーション」の他に、学校が「こうなったらいいな」と思うことは何ですか？自由に想像して書きましょう。他国の例を見つけてもいいですね。